

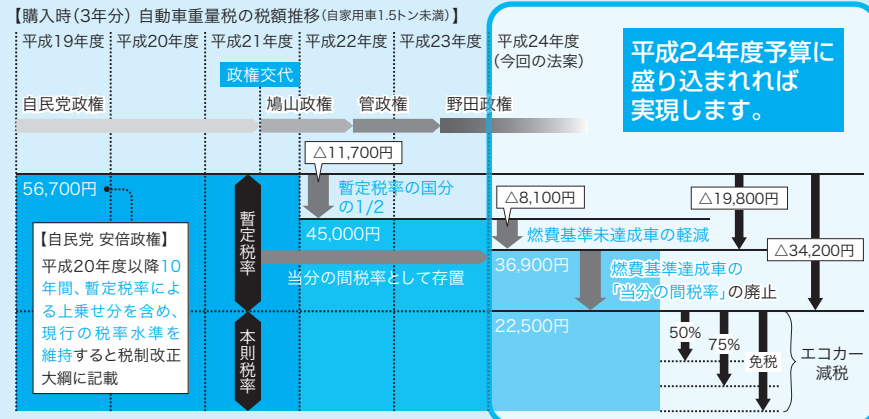
自動車総連 2012年政策・制度課題の取り組み

私たちが強く求めてきた「自動車関係諸税の軽減・簡素化」は、平成24年度税制改正大綱に前進する内容が織り込まれました。現在、開会中の通常国会で税制改正法案や平成24年度予算案が審議されます。また、エコカー補助金が盛り込まれた第4次補正予算案は、2/8(水)に法案可決となりました。

自動車重量税:当分の間税率の一部廃止・軽減<恒久減税>

自動車重量税は、旧道路特定財源の一般財源化によって課税根拠が喪失しているにもかかわらず旧政権下で30年以上放置されてきました。

一方で、今回の法案が成立すれば民主党政権になって3年で自動車重量税は2/3にまで縮減。これは「国民の生活が第一」とする民主党政権でなければ成しえないこと。「自動車重量税の廃止」は着実に前進しています。



平成24年度税制改正大綱では、我々が求めてきた抜本改革までには至りませんでした。しかし、検討事項として、引き続き見直しが行われることが明記され、今後の活動の道筋が明らかになりました。

【新車購入時の負担額のイメージ】
※車両価格180万円、重量1.5トン未満、排気量1800CCの場合。エコカー減税は50%軽減車を想定。

<現在> (エコカー減税対象車以外)		<平成24年5月以降> 重量税減税+ エコカー減税・補助金	
消費税	90,000円	消費税	90,000円
取得税	81,000円	取得税	40,500円
重量税(3年分)	45,000円	重量税(3年分)	11,200円
自動車税	39,500円	自動車税	39,500円
エコカー補助金	なし	エコカー補助金	△100,000円
合計負担額	255,500円	合計負担額	81,200円

決定! 174,300円も負担が減少!

【平成24年度税制改正大綱 検討事項 <国・地方共通> 記載内容】

自動車取得税及び自動車重量税については、「**廃止、抜本的な見直しを強く求める**」等とした平成24年度税制改正における**与党の重点要望に沿って**、国・地方を通じた関連税制のあり方の見直しを行い、安定的な財源を確保した上で、地方財政にも配慮しつつ、**簡素化、負担の軽減、グリーン化の観点から、見直しを行う。**

第23回参議院議員選挙(比例代表)候補予定者の紹介

スズキ労連 第62回中央委員会 第3号議案にて承認されました。来年施行予定の第23回参議院議員選挙において、私たちの代表として立候補を予定しています。今後とも、ご支援のほど、よろしくお願いいたします。



いそごぎき 哲史
新人/42歳/神奈川県
民主党公認予定

<略歴>

- 1993年 3月 東京電機大学機械工学科卒業
- 1993年 4月 日産自動車株式会社 入社
- パワートレイン開発本部配属
- 2003年 9月 日産労連 全日産自動車労働組合 職場委員長
- 2005年 9月 日産労連 日産自動車労働組合 常任委員
- 2007年 9月 日産労連 日産自動車労働組合 NTC支部執行委員長
- 2008年 9月 日産労連 日産自動車労働組合 副中央執行委員長(現)
- 2011年12月 自動車総連 特別執行委員(現)
- 2012年 1月 日産労連 本部執行委員(現)



どんなことでもOK!
お気軽にご相談下さい。

スズキ労連
労働相談
窓口

仕事、職場、労働条件、コンプライアンス、人間関係、私生活...
悩みはいろいろあるけれど、職場ではちょっと相談しにくいなあ。

こんな時にはお電話を!

0120-500-073
*月~金 9:00~19:00
相談無料・秘密厳守

【スズキ労連】機関誌に対するご意見・ご要望がございましたら編集部までお気軽にお寄せ下さい。

編集部 〒432-8062 浜松市南区増楽町20
TEL.053-447-3079 FAX.053-440-2838
e-mail : yhori@suzuki-union.or.jp

◇スズキ労連ホームページ◇
<http://saw.gogo.tc/>
*スズキ労連の福利厚生・スズキ労連機関紙
共通パスワード… saw2007

2012年2月 第359号

スズキ労連

2012年 2月号

静岡県浜松市南区増楽町20
電話(053)447-3079
スズキ関連労働組合連合会

発行人 古川正明
編集人 堀 吉伸

第62回中央委員会開催! 『2012年総合生活改善』取り組み方針を決定。



スズキ労連は2月3日(金)18:00より、SUN会館大ホールにて第62回中央委員会を開催しました。スズキ労連の各加盟組合から中央委員87名・傍聴者61名が参加し『2012年総合生活改善の取組方針(案)』の審議を行い、満場一致で決定しました。各組合では、今後この方針に基づいて職場討議を行い、独自の要求を組み立てていきます。

また、第二号議案では昨年末に組合結成した『スズキ化成労働組合』のスズキ労連加盟承認について審議され、満場の拍手にて決定。あらたに113人の仲間がスズキ労連に加わりました。第三号議案では、2013年に施行予定の第23回参議院議員選挙(比例代表)候補予定者推薦について審議を行い、こちらも満場の拍手にて承認されました。

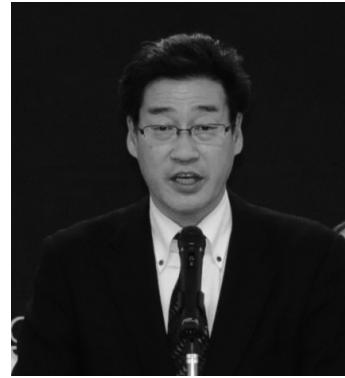
『2012年総合生活改善の取り組み』具体的要求内容 =抜粋=

- 1. 賃金引上げ**
 - ①平均賃金要求
賃金水準維持
すべての組合は、現状の賃金水準を維持するため、賃金カーブ維持分確保を大前提とする。尚、賃金改善分については、各単組での生産性向上に向けて懸命に取り組む組合員の努力・成果、賃金実態を踏まえた格差・体系の是正等を重視し、明確な額で要求する。
 - ②個別ポイント絶対水準要求
・現行のポイント賃金水準を基準とし、賃金改善分については、各組合の判断により設定。
・各組合は、以下の目指すべき水準を参考に自社に合った水準への引き上げを目指す。
基準Ⅰ 291,000円 基準Ⅱ 259,000円 基準Ⅲ 238,000円
 - ③企業内最低賃金協定の締結
18歳…154,000円以上
 - ④年齢別最低補償賃金
・各組合は、以下の目指すべき水準を参考に自社に合った水準への引き上げを目指す。
20歳 159,000円 25歳 178,500円 30歳 212,000円
35歳 235,000円 40歳 253,500円 45歳 262,500円
- 2. 年間一時金**
 - ①月数 年間5ヶ月以上を基準とする。最低でも昨年獲得実績以上。
 - ②要求基礎 要求の基礎は、賃金引上げ後の基準内賃金とする。
 - ③最低保障制度 40%以上を基本とする。
- 3. 労働時間短縮**
 - ①所定労働時間1952時間未達組合は、その達成に向けて取り組む。
 - ②有給休暇取得向上に取り組む。
 - ③36協定の年間特別延長時間の引き下げ。
 - ④労働時間に関する取り組みの基盤整備を推進
- 4. 社会的役割を踏まえた取り組み**
 - ①非正規労働者について、コンプライアンスの点検を徹底。
 - ②企業内最低賃金協定の締結・水準の引き上げ。
 - ③非正規労働者の雇用のあり方と生産変動への対応を労使で共有
- 5. 政策制度課題への取り組み**
 - 【労連/単組が行う活動】
 - ・自動車総連本部主催の政策勉強会への参加
 - ・自動車総連作成(発信) ツールを活用した組合役員・組合員への政策理解の促進
 - ・連合/地方連合等、上部団体の活動への参加
 - 【組合員一人ひとりが行う活動】
 - ・組合員一人ひとりが重要な政策への理解を深める。

取り組み日程	
●要求書提出	スズキ労組 2月15日(水) スズキ労組以外 2月22日(水)
●統一交渉日	第一回目 2月22日(水) (第二回目以降は交渉ゾーンを設定)
●回答指定日	業種ごとの課題を整理した上で、製造部品輸送部門は3月内決着を、販売部門は4月内決着を基本に取り組む。

「2012年総合生活改善の取り組み」スローガン採択
今を乗り越え 未来に向けて!
築こう 安心な生活!

古川会長 挨拶(要旨)



本日の中央委員会は、この春の取り組み方針を決定すると同時に、大きな時代変化の中で、みんなで安心の未来を作っていこうという決意を確認していく場としましょう。

取り巻く環境

我々の今回の方針を決めるにあたりましては、この1年間はこれまでになく大変だったということを確認しなければなりません。3月11日に発生した東日本大震災以降、タイでは大洪水がありまして、生産がままならないことがありました。その後、今日に至っていますが、エコカー減税もあり低燃費車の売れ行きが好調でいい方向ではありますが、円高ドル安ユーロ安の影響で日本で生産して輸出する分については為替差損で大打撃を受けています。

海外における車の販売については、海外で生産して海外で売るといふ地産地消がますます進むであろうということも否めないと思いますし、国内ではエコカーブームの風に乗って売上げを伸ばしていきたいとも思っています。

政策制度・自動車関係諸税の取組み

今回、組織内の候補として磯崎哲史さんを皆さんにご確認いただくこととなります。我々が推している民主党政権では、平成22年度には自動車重量税の一部が軽減され、平成24年度ではさらに削減もしくは当分の間税率が廃止され本則に戻すという動きになっています。また、エコカー補助金についても新しく設定する方向で動いています。このエコカー補助金は、以前は登録者が10万円、軽自動車は5万円でしたが、今回は登録車は変わりませんが軽自動車は7万円に増額されることとなっています。

この自動車関係諸税の軽減・簡素化に対する取組みは、民主党政権になって以降、自動車総連・スズキ労連が一丸となり、重点課題として進めてまいりましたが、組合員の皆さんへの浸透度が充分ではな

いような気がしています。

この点につきましては、来年に施行されます第23回参議院議員選挙に向けてしっかりと整理して、組合員の皆さんにお知らせしなければならないとも思っています。課税根拠を失った自動車関係諸税は、民主党政権下で盛んに議論されています。まだ実現には至っていませんが、高速道路無料化・ガソリン暫定税率廃止などは、生活にかなり密着していることもあり、私たちが肌で実感できる政策であると思います。今回の平成24年度税制大綱に織り込まれた自動車重量税の当分の間税率の一部廃止やエコカー減税についても相当の金額が減税されていますので、皆さんにお伝えしていかなければならないと思っています。

春の取り組みに向けて

また、こうした環境のなかで春の取り組みを進めていく訳ですが、マスコミ報道にもある様に、状況的には国内外とも厳しくなっていますが、われわれ自動車総連の仲間として、メーカーを中心とした各労連として共闘を強めていくことで打開していきたいと思っています。

秋の取り組みを振り返って

共闘の重みというところでは、スズキ労連の部品製造・輸送部門では休日を増やす活動が進んでいます。これまでメーカーとは4日の差があったところを、ここ2年で2日縮めてきたという実績もあります。この後、もう2日縮めてメーカーと同じ稼働日にしていきたいとスズキ労連では共闘を組んでいきますし、2011年労働諸条件改善の取組みの中で取り組みました労働災害・通勤災害の特別保障、遺族特別補償におきましても金額引き上げについて、共闘の成果が徐々に出てきているところです。また、スズキ労連関連の部品メーカーのみならず、販売部門の各販売労組・支部でも労災・通災の金額引き上げが成果としてあがっています。

最後に

今年の干支は辰になりますので、辰のように登っていきたくと思っています。このことを念頭におき、みなさんと一緒に取り組んでいきたいと思しますのでよろしく願いいたします。

【報告承認事項】(報告者)

- ①第40期中間活動経過報告(根木事務局長) 拍手にて承認
- ②第40期中間会計決算報告(堀副事務局長) 拍手にて承認
- ③第40期中間会計監査報告(嶋津会計監査人) 拍手にて承認



根木事務局長 堀副事務局長 嶋津会計監査人

【議件】(提案者)

- ①2012年総合生活改善の取り組み方針(案)(光田中執) 挙手にて承認
- ②新規組合加盟承認の件(後藤副会長) 拍手にて承認
- ③「第23回参議院議員選挙」候補予定者(比例代表)推薦の件(秋場副会長) 拍手にて承認



光田中執 後藤副会長 秋場副会長

【各委員の皆さん】(☆印は委員長)

- 議長： 田中直人(スズキ労組豊川支部)、石原治(ベルソニカ労組)
 資格審査委員： ☆坂本幸雄(スズキ労連中執)・稲垣圭吾(スズキ労組本部)・伊藤宏彰(スズキ部品秋田労組)・鈴木保夫(エステック労組)
 議事運営委員： ☆松浦信司(スズキ労連中執)・内山幸則(スニック労組)・田中克史(スズキ新潟販売労組)・松村幹(スズキ販売労組)
 書記： 成田博之(スズキ精密工業労組)・青葉美奈子(スズキ労連)
 司会： 菅沼伸好(スズキ労連中執)

議長団
 左:石原 治
 (ベルソニカ労組)
 右:田中 直人
 (スズキ労組
 豊川支部)



「第2号議案」では、昨年12月に結成された「スズキ化成労働組合」の労連加盟について審議され、満場の拍手にて承認。古川会長から河合委員長(スズキ化成労組)に組合旗が授与されました。(右写真)



総合生活改善の取り組み 職場委員研修会

スズキ労連の各加盟組合では、春の取り組みの活動の一つとして、「職場委員研修会」を開催して組合員の知識向上、認識合わせをしています。今回は、「スズキ部品秋田労組」と「スズキ部品富山労組」での活動を紹介します。

スズキ部品秋田労組

開催日:2012年1月28日(土)13:30～17:00
 場所:八郎湯ハイツ
 参加者:21名(組合役員・職場委員)



第32回目を迎えたスズキ部品秋田労組の職場委員研修会。今年は例年以上に寒く、一週間以上も氷点下の気温が続く中、21名もの組合員が参加しました。総合生活改善の取り組みでは、賃金(賃金カーブや定期昇給・ベースアップ)について理解を深め、その後、現在の社会情勢や企業業績について確認をしました。

- <内容>
1. 労働金庫の諸活動について(50分)
 2. 全労済の諸活動について(50分)
 3. 2012総合生活改善闘争について(80分)

スズキ部品富山労組

開催日:2012年2月4日(土)14:00～17:30
 場所:越中庄川荘
 参加者:16名(組合役員、職場委員、書記)



日本海側を襲った大雪も峠を越え小康状態となったこの日、スズキ部品富山労組は職場委員研修会を開催しました。研修では、労金・労済について学習し、続いて、政策制度課題の一つである「自動車関係諸税の取り組み」について、理解を深めました。

- <内容>
1. 労働金庫の活動について(60分)
 2. 全労済の活動について(60分)
 3. 政策制度課題について(50分)
 4. 職場委員の任務と役割について(30分)